

## 静岡

2018年2月7日

### 掛川で「地域部活」発足記念イベント

県西部の中高生が校外で、音楽や演劇、放送の三つの芸術活動を学ぶ「地域部活」の発足記念イベントが四日、活動拠点となる掛川市亀の甲の市美感ホールであり、記念セレモニーやパネル討論で取り組みを紹介した。

同市に本部を置き、子ども向け教育事業を展開する「ふじのくに文教創造ネットワーク」（斉藤勇理事長）が、地元出身のアーティストらを講師に招き、週三回ほど技法を指導する。学校の枠を超えて活動する部活動は、芸術分野では珍しい。

記念イベントでは、斉藤理事長が「子どもたちの主体性を発揮できる部活で、豊かな感性や多様性を尊重できる寛容な心を育ませたい」とあいさつ。山田文子・市教育長は「新たな選択肢が増え、夢のある活動になる」と呼び掛けた。

続いて、講師として参加するアーティストと、浜松南高生が地域部活をイメージした演劇を披露した。パネル討論は文科省の担当者や学識経験者らが参加。現状の部活動の在り方に、「子どもが主人公でみんなで考えていく必要があるが、今は教師に指示されている」「学校の特色作りになっていて差別化にもつながっている」などの意見があった。地域部活には「感性を豊かにできる。ここで育った子どもの将来が楽しみ」などと期待した。

（赤野嘉春）



地域部活の活動をイメージした演劇を披露する浜松南高の生徒ら＝掛川市亀の甲の市美感ホールで（市提供）

#### 今、あなたにオススメ

Recommended by

Copyright © The Chunichi Shimbun, All Rights Reserved.